

天皇制を考える市民講座

2018年

11月23日(金・休)

午後2時から

会場 神戸学生青年センター

(阪急六甲駅下車、北東徒歩3分) TEL078-851-2760

参加費 700円



「明治産業革命遺産」と強制労働 「明治150年」賛美反対

講師 中田 光信さん(強制動員真相究明ネットワーク 事務局長)

資料:「明治日本の産業革命遺産」と強制労働(神戸学生青年センター出版部・発行)

今年「明治150年」記念として、政府は10月23日東京・憲政記念館で「明治150年」記念国家式典の開催を予定し、天皇・皇后も出席すると思われています。政府の宣伝文句は「明治の精神に学び、日本の技術や文化といった強みを再認識し、日本の更なる発展を目指す」ことです。「明治の精神」とは王政復古にもとづき五箇条の御誓文から大日本帝国憲法に至る絶対主義天皇制国家の建設で、「日本の強み」とは「殖産興業・富国強兵・植民地拡大」です。

ところで「明治日本の産業革命遺産」が2015年にユネスコ世界遺産に登録されました。「強制動員真相究明ネットワーク」のパンフレットを読むと、どうやらこの登録は森友学園や加計学園疑惑と同じ「安倍首相付度案件」であったようです。驚くべきことに「産業革命遺産」に萩地域の松下村塾と萩城下町が登録されました。吉田松陰の私塾がなぜ世界遺産になるのか。まったく容認できない「安倍付度」です。

王政復古とアジア侵略を主張した吉田松陰は、大日本帝国によるアジア侵略思想の元祖です。

これらの事実をふまえて「明治150年」賛美と天皇制侵略国家賛美の批判をおこないます。

この際「民主主義に天皇はいらない!」の立場から、徹底的に議論をしましょう。

主催 はんてんの会(兵庫反天皇制連続講座)

後援 神戸学生青年センター

連絡先(神戸市灘区山田町3-1-1 神戸学生青年センター・気付)

